

ケース会議の実施

実施場所 小学校

実施時期 学期に1回程度(5月・8月・2月)

参加者 学級担任・特別支援教育コーディネーター・管理職
保護者・放課後等デイサービス職員・
相談支援事業所職員

目的 児童が安心して学校や家庭で生活できるように、
特性の理解や情報を共有し、連携を図る。

内容

- ・ 小学校での児童の様子について
- ・ 個別の教育支援計画、個別の指導計画の確認
- ・ 放課後等デイサービスでの活動の様子について
- ・ 支援で取り入れている道具や方法の紹介
- ・ 学校での宿題について
- ・ 家庭での様子について
- ・ 今後の支援や引継ぎについて

成果

- ・ 放課後等デイサービスで使用していた道具を学校でも使用することにした。本児の支援に有効な道具を積極的に取り入れたことで心理的に安定し、落ち着いて学習に取り組むことが増えた。